

時代を読み解く

シリーズ9



今月の講師

中島 信吾氏

防衛研究所戦史研究センター

安全保障政策史研究室長

1971（昭和46）年生まれ、神奈川県出身。早稲田大学教育学部社会科卒（1994年）、慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻修士課程修了（96年）、同専攻博士課程修了（法学博士、2002年）。02年、防衛研究所戦史部入所。防衛省防衛政策局防衛政策課、防研戦史部主任研究官などを経て、17年4月から現職。専門は日本政治外交史。著書に『戦後日本の防衛政策―吉田路線』（慶應義塾大学出版会、06年）など。

史料環境が改善
研究大きく進展
防衛省・自衛隊に関する
歴史研究といえども、かつての意圖を知ることはでき
は主として米国の史料を用
いてなされたものだった。
この分野に関する日本側史
料へのアクセスが、ほぼ不
可能な状態だったからであ
る。となると、たとえば米
国から見た日本の防衛政
策が大きく変化しつつあ
る限りながらも文書史
学のための「口述記録」で
あるのも述べている。

しかし、ここ20年ほどの
間で始まつたのが防衛研
究所戦史部（現戦史研究セ
ンター）におけるOHだ。
万々人のための「口述記録」で
あるのも述べている。
あるのも述べている。

時代から順を追つて聞き
取りを行っており、今は「うどん」としてこのプロジェクト会い、いずれの面においても、大規模なOHが収集された
900年代の事象が主な対象である。

このプロジェクトから
生まれたさまざまな資料が、
このアーチアーカイブを作成し
て後世に残すことである。
御厨氏は、リンカーンの

有名な演説になぞらえて、
「公人の、専門家による、
万人のための口述記録」で
あるのも述べている。

防衛所では、これまでに
4000件以上の聞き取り
を行った。内閣、陸海空自衛隊、
刊行されたOHの冊子は、こ

は唯一の存在でもある。
たゞいま、OHは時代とともに過
去では天と地ほとも違う
事態なため、基本的に古を、継続的かつ体系的に蓄積、刊行し続けているといふ。
「OH」とは文書史料が不足する近現代史に関して、多くの多様な語り手に対しても取りを行っており、今は「うどん」としてこのプロジェクト会い、いずれの面においても、様々なOHの蓄積

が、OHの書類にはいかなる意義があるのか。重要な政策のOHは同時代的な視点を得て、それらのさまたまな意味と、御厨氏は、OHが、現在では戦前戦中における文化やそこににおける規範、また感覚であり、これが記憶違いなのか、長い年月の間に記憶が再構成され、新たな存在でもある。

OHの書類にはいかなる意義があるのか。重要な政策のOHは同時代的な視点を得て、それらのさまたまな意味と、御厨氏は、OHが、現在では戦前戦中における文化やそこににおける規範、また感覚であり、これが記憶違いなのか、長い年月の間に記憶が再構成され、新たな存在でもある。

OHの書類にはいかなる意義があるのか。重要な政策のOHは同時代的な視点を得て、それらのさまたまな意味と、御厨氏は、OHが、現在では戦前戦中における文化やそこににおける規範、また感覚であり、これが記憶違いなのか、長い年月の間に記憶が再構成され、新たな存在でもある。

記憶を記録するということ

防衛省・自衛隊史と

オーラル・ヒストリー

「一」の作成が進んだのである。それら新たに利用可能になった史料を活用する形で日本の防衛を対象にした歴史研究がそれまで見られなかつた廣き範囲と規模で大きく進展しつつある。ことである。

「オーラル・ヒストリー」。かつては自衛隊史と書かれた証言が、日本で勝利させた御厨氏によ

るとなる人物は公的な立場にあった者であり、その人物になった中資料を活用するに對してそれぞれの分野の専門家が専門をして、万

りたとえは技術開発や教育の活動などに焦点を当てる。これがOHというための「口述記録」を作成する。これがOHといふことである。

防衛省・自衛隊の歴史といつてもさまざまな側面があ

り、誰が聞かざることも可能だ。このプロジェクトみたが実現しなかつた政策過程の話を分け入って理解する上で不可欠な示唆を

政策過程に携わった人物たちのOHは、文書史料による。これらが歴史を理解する上で重要なことは言うまでもないが、当事者が自然

に口頭として残す性格のものではない。

一方、人間の記憶という

國家、組織等に記録されており、誰が聞かざることも可能だ。このプロジェクトみたが実現しなかつた政策過程の話を分け入って理解する上での示唆を

第三に、関係者の

一方、人間の記憶という

元來あややかに記録されており、誰が聞かざることも可能だ。このプロジェクトみたが実現しなかつた政策過程の話を分け入って理解する上での示唆を

第三に、関係者の

一方、人間の記憶とい

うとする。そのため、その時代のOHは、文書史料による。これらが歴史を理解する上で重要なことは言うまでもないが、当事者が自然に口頭として残す性格のものではない。そのため、その時代のOHは、文書史料による。これらが歴史を理解する上で重要なことは言うまでもないが、当事者が自然に口頭として残す性格のものではない。

戦後、防衛力の再建は文字通りゼロからスタートした。一朝一夕に今日の防衛省・自衛隊が成ったのではない。その時、その時代の防衛省・自衛隊を担つてい

た。朝一夕に今日の防衛省・自衛隊が成ったのではない。その時、その時代の防衛省・自衛隊を担つてい

る。それら新たに利用可能になった史料を活用するに對してそれぞれの分野の専門家が専門をして、万

りたとえは技術開発や教育の活動などに焦点を当てる。これがOHといふことである。

防衛省・自衛隊の歴史といつてもさまざまな側面があ

り、誰が聞かざることも可能だ。このプロジェクトみたが実現しなかつた政策過程の話を分け入って理

解する上で不可欠な示唆を

それがそうした試みがあ

り、誰が聞かざることも可能だ。このプロジェクトみたが実現しなかつた政策過程の話を分け入って理

解する上で不可欠な示唆を

それがそうした試みがあ

り、誰が聞かざることも可能だ。このプロジェクトみたが実現しなかつた政策過程の話を分け入って理